

モンゴルで新型コロナ禍に対応する スタートアップ支援プログラムを実施

JICA が KDDI 株式会社傘下の MobiCom Corporation LLC 等と連携

国際協力機構(JICA)は、モンゴル国内で、モンゴル通信事業の大手で KDDI 株式会社傘下の MobiCom Corporation LLC 及びモンゴル日本人材開発センターと連携し、コロナ禍の社会経済の変容に対応する革新的なビジネスモデルやテクノロジーに取り組むスタートアップ企業への支援プログラムを実施します。10月10日にウランバートル市内で開催される ICT Expo において、同日より参加企業の募集を開始することを広くお知らせする予定です。

モンゴルでは、市中感染は発生していませんが、国際定期便の運航停止や外国人の入国制限等の措置により、貿易や観光業等の経済活動が減少し、いわゆるニューノーマルな社会に合わせたビジネスの創出が求められています。

今回のプログラム(通称:MonJa)で、JICA と MobiCom Corporation LLC 及びモンゴル日本人材開発センターは、コロナ禍に対応する革新的なソリューションを提供するモンゴルのスタートアップ企業を支援します。書類・インタビュー選考を経て選定する数社を対象に、最大3万ドルの事業を委託するとともに、JICA、MobiCom Corporation LLC、モンゴル日本人材開発センターから、メンタリングや講義等のサポートプログラム、日系企業とのネットワーキングの機会等を提供します。

JICA は、モンゴルの持続可能な経済成長の実現に向け、モンゴル日本人材開発センターに対し技術協力を実施してきました。同センターは、これまでに約 1,000 名の中小企業経営者等を育成し、モンゴルにおけるビジネスのノウハウやネットワークを蓄積しています。これらのノウハウを生かしながら、また今回のプログラムを通じてスタートアップ企業を支援し、モンゴル発のイノベーションを加速させ、より強靱なモンゴルのニューノーマル社会の構築に貢献します。

プログラムの詳細は以下のとおりです。

プログラム名	MonJa Startup Accelerator Program in response to COVID-19
目的	コロナ禍の社会・経済の変化に対応した革新的なビジネスモデルを生み出すスタートアップ企業の発掘・支援。選考を通過した企業に対する実証事業の委託。
スケジュール	募集期間:10月10日～11月6日 企業選定:11月～12月 支援プログラム:2020年12月～2021年6月 最終イベント:2021年5月を予定 ★本プログラムの成果を発表します
応募内容	コロナ禍の社会構造・経済活動の変化に対応したビジネスアイデア及び事業
対象セクター	例) 1. 遠隔診療や医療データの共有及びプライバシー保護に係るサービス 2. 緊急情報の伝達に係るサービス、災害時における位置情報データを利用したサービス 3. リモートワークやオンラインイベント運営等のビジネスサービス 4. 遠隔教育サービス 5. アグリテック・フードテックに関するサービス 6. 物流サービス(オンラインショッピング化・デリバリーシステム構築) 7. その他、イノベーションによる輸入代替サービスなど